

# 平成19年度 第3回 環境審議会 会議概要

日時：平成19年11月12日（月）午前9時30分から12時15分

場所：穂高支所 3階 第3会議室

出席者：環境審議会委員13名、事務局4名、コンサル1名

傍聴者1名、マスコミ取材1名

## 議事録

挨拶 ・環境審議会 降旗会長

### 1. 環境基本計画の策定経過及び今後の日程について（事務局より）

- ・H18及びH19の経過、今後のスケジュール説明  
3月までを市民への周知期間とし、ダイジェスト版を全戸配布等をする予定です。
- ・11月8日に市長が審議会に対して環境基本計画策定について答申をしました。  
これを受けて環境基本計画素案について、章毎に検討を行い、全4回で終了する予定です。  
(11/12A9:30- , 11/20P1:30- , 11/28 P1:30- , 12/6 P1:30-(P3:30-答申) )
- ・計画素案は、事前に送付しました。目を通してきていただいておりますものとして進行します。  
なお時間的な制約もあるため、委員さんからいただくご意見は、抽象的なものではなく、具体的な意見（字句表現まで勘案したもの）を出してもらいたいと思います。
- ・計画内容の主旨については、事務局でお答えできないものがあります。そのようなものは、11月下旬に策定委員会との話し合いを持ちたいと思います。
- ・都合により欠席される場合は、事前に事務局まで連絡してください。また意見等がありましたら文書でお寄せください。
- ・会議終了時間は、あくまでも予定ですので延長する可能性があります。
- ・過密スケジュールのため、委員報酬は全4回終了後にお支払いさせていただきたい。

### 2. 環境基本計画素案についての討議

（会長）この素案は第1章から第6章までで校正されている。章毎に検討していきたい。

今日は、第1章と第2章を検討し、次回は第3章と第4章、3回目に第5章と第6章を検討していきたいと思っているがよろしいでしょうか。（異議なし）

それではそのように進めていきたい。

（委員）全体での検討をお願いしたいが・・・、前回意見交換会でも自分が発言したが、数値目標を設けられないか。この点について他の委員はどう考えているのか聞きたい。

（委員）10年後どういう姿になっているのかが不明、進行管理は数値指標で管理した方がよい。ある程度大枠でいいので数値目標はあったほうがよい。

（委員）前回意見交換会でも基本的な考え方を示して欲しいと要望したが、反映されていない。地域審議会で「総合計画素案」が示されている。「土地利用計画」も併せて情報として出してもらい、環境基本計画の検討をしていきたい。

（委員）他の計画との整合性は重要と思う。目標の設定であるが、一番大きな目標はCO2削減にあると思う。どのくらいの節減ができるかという観点があれば全体が見えてくるのではないか。

（委員）目標の数値化は重要、PDCAサイクルにより、より高いところへ到達していかなくてはならない。目標をはっきりとする必要がある。

（委員）数値目標はあったほうがよい。市民・事業者・行政が具体的にわかりやすい形で計画に掲載したほうがよい。

（事務局）前回意見交換会でも全く同様な意見をいただいた。その中でも議論され、策定委員からも答弁があったが、数値が実現可能なかの検討や現状分析にも時間が必要で、中途半端な数字を出すことがどうかとの意見がありました。また来年以降は環境推進会議を設立させその中で行動計画を作り、具体的な数値を示していきたいと考えている。

素案の中では数値目標はないが、第4章の中に「重点的に取り組む項目」を設けて具体的に行動することを明確化している。

（委員）前回意見交換会でも言ったが、重点項目の優先度Aが多いとやってきたが、変わっていないように見える。また具体的取り組み事項はわかるが、やはり目標年度というものは必要と思う。

（委員）目標があって行動計画があるのでは・・・行動計画を作って目標数値を決めるのはおかしい。達

- 成できるかどうかわからなくても、ある数値は作っておいてそれに向かったの行動計画を作るための目標は必要。
- (事務局) 事務局は今まで策定委員が討論してきたことを代弁することしかできないが・・・策定委員の中では、その前に P77「計画に向けた第1歩」から実現させていきたいとの強い思いがありました。また P79「計画の推進体制」の部分も同様に実現に向けての強い思い入れがありました。目標値についての審議委員会としての意見があれば、その方向で検討いただくことになります。
- (委員) 数値目標は策定委員にお願いするのか、それとも自分たちでやるのかも考えなければならないのか。数値目標があることはいいに決まっているのだから。
- (委員) 計画とは、どういう体制でその目標を達成するというもの。PDCA サイクルで回らないところをチェックしながらレベルアップしていくもの。全体の構成についても、目標があって、その後それを実現するための方策が載ってくるもの。構成から考え直さなければならない。
- (委員) 全ては数値化できないので、実行しているうちに数値化できるものは数値化していくようにしたらどうか。
- (委員) 確かに数値化は誰からもわかりやすいと思うが、むやみに数値化しても絵に書いた餅になってしまう懸念がある。国が定めている達成しなければならない目標があると思うので、そういうものは盛り込んでいく必要がある。
- アクションプランがないのに数値化するのはどうか。それはかなり時間をかけてやっていかなければならない。安曇野市モデルを作っていくには時間がかかるのではないか。
- (委員) この計画はこれからの街を良くするというのが一番の狙いである。現実的にこういうことだという大きな狙いがあればわかりやすいと思う。よってこの素案を全面的に修正するのではなくて、その部分だけを具体化して市長に答申したらどうか。
- (委員) この素案を見て、現実的問題から地球規模の問題まであって、自分たちが何をやってよいのかわかる人は少ないと思う。市や市民として抱えている問題を具体化したものが、一歩手前にあったほうがよりわかりやすくなるのではと思う。
- (委員) 素案を読んで安曇野市としての計画は何なのかがつかみにくい。それは数値化が全然されていないから。安曇野市としての重要な項目については数値化して表現すべき。そのためにももう少し時間をとっていいのではないか。
- (委員) 某区長からも具体的な数値目標があったほうがいいと言われた。地元に戻っても説明しやすい。事務局も策定委員も地元の声を聞いてほしい。ダイジェスト版にも明確な目標がほしい。
- (委員) PDCA に数値目標は必要。できれば数値目標を入れてほしい。これだと5年後10年後に評価することができない。この計画はすばらしい現状把握ができています。この現状把握の中でできる数字は載せていったほうがよい。
- (委員) 今までの委員の意見を聞けば、数値目標はどうしても必要ということだと思う。そこで第5章「計画の実施に向けた第1歩」(P77)にある「取り組みの目標」に数値目標を入れたらどうかと思う。総合計画との整合性も必要。それらを委員に情報提供してほしい。
- (事務局) 総合計画や土地利用計画等全ての計画策定が同時にスタートしている。途中途中では、策定委員会に情報提供を行いながら策定作業を行ってきた。現段階での、総合計画と土地利用計画についての資料について、早急に審議委員に送付させていただくようにする。
- (委員) 各計画に関する情報をもっと流してほしい。そうするともっと有効利用できるのではないか。
- (会長) 既に計画書をご覧いただいてきて、修正箇所をチェックしてきてもらってあると思う。これからそれをお聞きし、議論し、策定委員に聞くことがあるか、また自分たちでやることがあるか、という流れになってくる。
- (委員) 策定委員会は傍聴できるか？
- (事務局) 策定委員会もこの審議会も基本的には全て公開としている。また HP でいつどこで開催するのかを掲載している。また傍聴も可能としていますので、いつでも傍聴できます。
- (会長) それではここからお気づきの点を上げていただくこととします。

— 以下、P1 から P10 まで、ページ順に内容検討ならびに字句修正・追加・削除等を行った —  
(A10:30~12:15)